

岐阜学習センター（21A）

科目コード	2684748	授 業 概 要
クラスコード	K	
科目区分	専門科目:情報	
ナンバリング	320	
科目名	技術変革と私たちの生活	
定員	40名	
担当講師	<small>ハダ ヨシアキ</small> 葉田 善章 放送大学准教授	
日程 実施時間	■7月4日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■7月5日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40	
実施会場	岐阜学習センター	

【授業内容】
現代の私たちの便利な生活はコンピュータ技術なくして成立しません。ネットショッピングやさまざまな手続き、電子決済、自動運転など、コンピュータ技術が適応される範囲は年々拡大しており、モノのインターネット (IoT: Internet of Things) の実現を目指して試行錯誤が行われています。この授業では、コンピュータや通信ネットワーク、メディア、SNS (Social Networking Service) といった近年登場した技術によって私たちの生活がどのように変化しようとしているのか考えます。
【到達目標】
私たちの生活に影響を与え、欠かすことができなかったコンピュータによる技術変革に気づき、授業で提示する課題を通して自分の生活をどのように変化させたのか、自分の言葉でまとめることが目標である。そして、技術変革によりもたらされる今後の生活について自分なりの考えを持ち、生活の中で継続して学習を進める意識につなげることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 技術改革ともたらされるコト
第2回 コンピュータ技術の移り変わり
第3回 通信技術の移り変わり
第4回 ネットワークサービスの変遷
第5回 実世界と仮想世界
第6回 モノによるサービスの例
第7回 これからの技術と付き合い方
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
スマートフォンや自動車、SNSなどの例を見ながら考えます。よりよい理解のためには基本的なコンピュータやネットワークの知識が既にあることが望ましいですが、積極的に自ら学びたい方の受講も期待します。
【受講前の準備学習等】
自分のふだん行う業務において、どのような情報があると業務効率を高めるのか、業務効率を判断する指標となる情報は何かを明らかにし、自分なりに説明してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
【受講者が当日用意するもの】
成績とは無関係ですが、希望者に対し無線LANサービスを提供し、お手持ちのスマートフォン・タブレットで教材を閲覧できる環境を提供しますので、希望される方は端末をお持ちください。設定や操作は各自でやって頂きますので、あらかじめご了承ください。
【教科書】授業当日にプリントを配付します。
【参考書】■身近なネットワークサービス (改訂版) (葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322181) 放送大学印刷教材 ■コンピュータ通信概論 (改訂版) (葉田善章／放送大学教育振興会／¥4,070／ISBN=9784595324802) 放送大学印刷教材 ■生活を支えるコンピュータ技術 (葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595325281) 放送大学印刷教材

【授業内容】

現代の私たちの便利な生活はコンピュータ技術なくして成立しません。ネットショッピングやさまざまな手続き、電子決済、自動運転など、コンピュータ技術が適応される範囲は年々拡大しており、モノのインターネット（IoT: Internet of Things）の実現を目指して試行錯誤が行われています。この授業では、コンピュータや通信ネットワーク、メディア、SNS（Social Networking Service）といった近年登場した技術によって私たちの生活がどのように変化しようとしているのか考えます。

【到達目標】

私たちの生活に影響を与え、欠かすことができなくなったコンピュータによる技術変革に気づき、授業で提示する課題を通して自分の生活をどのように変化させたのか、自分の言葉でまとめることが目標である。そして、技術変革によりもたらされる今後の生活について自分なりの考えを持ち、生活の中で継続して学習を進める意識につなげることができるようになる。

【授業テーマ】

- 第1回 技術改革ともたらされるコト
- 第2回 コンピュータ技術の移り変わり
- 第3回 通信技術の移り変わり
- 第4回 ネットワークサービスの変遷
- 第5回 実世界と仮想世界
- 第6回 モノによるサービスの例
- 第7回 これからの技術と付き合い方
- 第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】

スマートフォンや自動車、SNSなどの例を見ながら考えます。よりよい理解のためには基本的なコンピュータやネットワークの知識が既にあることが望ましいですが、積極的に自ら学びたい方の受講も期待します。

【受講前の準備学習等】

自分のふだん行う業務において、どのような情報があると業務効率を高めるのか、業務効率を判断する指標となる情報は何かを明らかにし、自分なりに説明してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

成績とは無関係ですが、希望者に対し無線LANサービスを提供し、お手持ちのスマートフォン・タブレットで教材を閲覧できる環境を提供しますので、希望される方は端末をお持ちください。設定や操作は各自でやって頂きますので、あらかじめご了承ください。

【教科書】授業当日にプリントを配付します。

- 【参考書】■身近なネットワークサービス（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322181）
放送大学印刷教材
- コンピュータ通信概論（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥4,070／ISBN=9784595324802）
放送大学印刷教材
- 生活を支えるコンピュータ技術（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595325281）
放送大学印刷教材